

あるかぼーと・唐戸エリアマスタープランデザイン会議

第1回 議事概要

日時	2023年7月26日(水) 14:00~18:00
場所	UZUHOUSE 3階会議室
参加者(委員)	HBP・KAM 共同事業体：泉、吉田、木村隼、有賀、木村大、清原、鈴木、安本 専門家：長町、榎本、大橋(オンライン)、井上 地域事業者：郷田、湊、竹内、立川 事務局：北島副市長(事務局長) エリアビジョン推進室 前田、平山、村上、上野

(※市役所参加部局課)

産業振興部	産業振興課
農林水産振興部	市場流通課
観光スポーツ文化部	観光政策課 観光施設課
建設部	道路河川建設課
都市整備部	都市計画課 交通対策課
港湾局	経営課 施設課

1. 開会

- 北島副市長より開会挨拶

2. 自己紹介

- 各委員より自己紹介

3. 地域連携(海峡エリア事業者等との連携・地域WS)

吉田委員及び木村(大)委員より説明の上、議論

- 地域WSはUターンした地元事業者後継者など若い人々が参加。この積み重ねがプレイヤーをつかっていくという感触。
- 有料での運営が参加者の主体的参画を促進して良かったと思われる。ライブ配信等も不特定多数への発信である必要はない。
- 今後、市場関係者の参加呼びかけも検討。
- 課題の共有も大事だが、課題を挙げていだけでは前向きな検討ができないので、WSにおいてはみんなが大切にしていることや愛しているところなどを出していけるような形で進めたい。

4. 情報発信の進め方

安本委員、木村(隼)委員より資料に基づき説明の上、議論

- 立ち上げていくHPにおいて、マスタープラン自体について、どのような取り扱いが望ましいか。
- マスタープラン自体が必ずしも伝わっていない。一般の人は星野リゾートができることは知っているも、マスタープランに

については知らない状況。一方でマスタープラン自体は、これからの議論により変動する余地を含んだものでもあり、その詳細は推進会議で段階的に方向性を確認していくもの。

→ HP においては、詳細というよりもマスタープランの存在が認知できるようにする

- 若い人向けの発信をどのように行うか。
- SNS を中心に、適切なプラットフォームを選定しつつ行う。
- SNS については、10月を待たずとも早く立ち上げてはどうか。そのためにはプロジェクトの名称について検討が必要。

(プロジェクト名称)

- それぞれアイデアだし。みらいプロジェクト、KAIKYO PROJECT、KAIKYO AREA VISION、KAIKYO CREATION、KAIKYO REBORN PROJECT、KAIKYO NEAR FUTURE、KAIKYO FIELD、「海峡」など
- 海峡は入れたいが、カタカナとした方が、既存の「海響」とのバッティングを避けられる、自由度が感じられ参加度が高まる、「カイキョー」と伸ばして表現できる、等の理由からソトアソビ時からカタカナ。

→ 「カイキョーリボーンプロジェクト」を案として確認。ロゴはシンプルなものでも案を作成して検討。

- 高齢の方など SNS 等では届きにくい方々に向けた発信はどのように行うか。
- 自治会の回覧板や商工会議所の会報誌などとも連携していく必要がある。メディアを通じた情報発信も検討が必要。特に重要なポイントでは、足を運んで説明する等も組み合わせて行う。

5. 魅力的な港湾事例 & 夜間景観

長町委員より資料に基づき説明の上、議論

- ライトアップされた船で海峡を周遊できるようなこともできると良い。
- 工事中の印象を暗くしない工夫も検討できるか。
- 事例としては存在する。例えば神戸のポートタワーでは工事の仮囲いにプロジェクションマッピングを打てるようにしているなど。ただし、費用面の精査は必要。
- 行政内部でも灯りの演出に関して理解を深める必要があるため、行政関係者向けのレクチャーも検討。

6. 目指すシーンのピックアップ

KAM 各メンバーより、それぞれの描くシーン等について説明の上、議論

- それぞれに出てきたシーンがマスタープランでのどのエリアで表現できるか、改めて整理してまとめていくことで各事業の推進に当たっての基本的な考え方を形成していく。
- 全体に共通して、地元の人たちの日常をどう取り込んでいくか、検討していく必要がある。
- まだまだ知られていない魅力的な場所があるのではないかと。唐戸市場の屋上、姉妹都市広場など。デッキを広くするなど使いやすくする工夫の余地もあると思われる。
- 一方で問題は駐車場。渋滞が起きてしまうことが課題。 ※駐車場については次回、議論を予定。

7. タテミチ検討の進捗状況

木村委員より進捗状況共有

- 現在個別の設計協議を進めている状況
- 「海の参道」のような考え方も出てきたので、今後の検討の進め方に関しても道路部局とも相談していきたい。

8. 船溜まり検討の進め方

木村委員より資料に基づき説明

- エリアの設定、専門事業者も含めた橋梁や土木の検討など進め方に異論はなし

9. 今年度業務工程及び3か年スケジュール素案

※時間超過のため今月は議論せず。必要に応じ個別に相談。

以上